

銀の風

- 新任医師を紹介します！～木島庸貴医師～
- 診療科profile『循環器科』
- 新病院建設NEWS No.4
- 新人看護職員研修レポート Vol.1
- 病院敷地内全面禁煙のお願い
- 第6回病院まつり(開催のお知らせ)
- 外来診療一覧、編集後記

Vol. 2 3
2019 夏号

大田市立病院 〒694-0063 大田市大田町吉永1428番地3

大田市立病院の様々な情報をホームページ・facebookに掲載しています。



ホームページ



facebook 大田市立病院



facebook

※『銀の風』は世界遺産「石見銀山遺跡」から着想を得ています。「石見銀山遺跡とその文化的景観」は人類の平和と人権の尊重をめざすユネスコの世界遺産に登録されています。

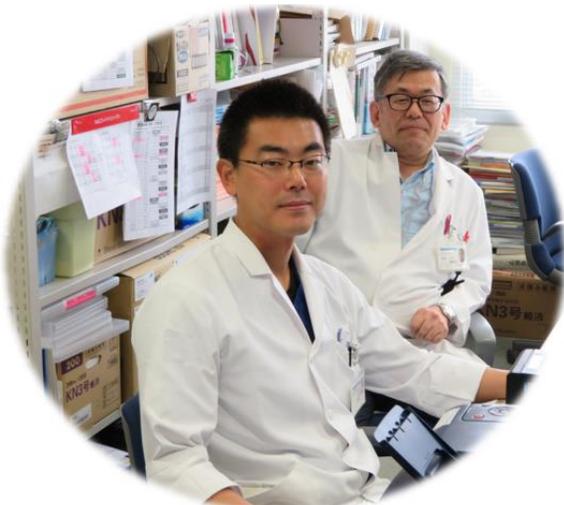
新任医師を紹介します！

きしま つねたか
総合診療科 木島 庸貴 医師

4月に大田市立病院・大田総合医育成センターに着任した木島庸貴と申します。出身は大田市です。大学・初期研修は関東で過ごし、総合診療の研修を岡山県で行いました。そして、2013年に島根県に戻ってきて島根大学病院で勤務しました。今年から出身地である大田市の病院で勤務することになり、卒後14年目となります。

専門は総合診療、プライマリ・ケアで、大田市立病院では初診外来（主に火曜日）、病棟診療、救急外来、感染対策、“教育”業務に従事しています。大田市立病院は、この地域の二次医療機関病院として、診療所での一次医療と大学病院などでの三次医療の間の役割を担っております。主な診療機能として各科の外来、救急、病棟、MRIなどの高度な検査、手術や透析などの治療、三次医療を受けた後に家に戻るまでを結びハビリテーションなどを提供しています。

私の業務の1つである“教育”ですが、医師の育成には高度な医療を学ぶだけでなく、多様な医療機関での経験や地域の医療を支える保健・福祉の役割を学ぶことも重要とされております。そのため、大学だけでなく大田市立病院での経験も非常に重要であり、さらに病院外の診療所などを含め多くの方々の協力を得て“教育”が行われています。



写真手前 木島 庸貴 医師
写真奥 武田 文徳 医師

地域の医療を支える人材が充実するためには、その地域で医療に従事する人材を育成すること（育てる環境を整えること）が必要です。次の世代を担う人たちの育成に携わり、成長していく姿を見るのは楽しく、やりがいがありますが、その過程には時間もかかります。

ときに、大田市立病院を利用される皆さんをお待たせすること、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれません。ただ、皆さんが気になることや困った経験・良い経験など、それらを指摘してもらうことは今後の大田市の医療の質向上に繋がります。ご意見をいただくための箱も病院内に設置されております。直接言いにくいこともあると思いますので、ぜひご活用ください。

微力ですが、“教育”を通じて大田市の医療がより充実し、さらに大田市の健康の向上に貢献していければと思っていますので、よろしくお願い致します。

和

誠意

奉仕

- 1) 大田二次医療圏の中核病院として、5疾病5事業を中心とした急性期医療を提供します。
- 2) 病病・病診連携により、圏域に必要な医療提供に努めます。
- 3) 地域で必要度の高い疾病に対し、保健・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスを提供します。
- 4) 訪問看護等を通して在宅医療や地域医療の向上に寄与します。
- 5) 医療水準の向上と安全な医療環境整備に努めます。
- 6) 職員相互の協調によるチーム医療の実践と、よき医療人としての人材育成に努めます。

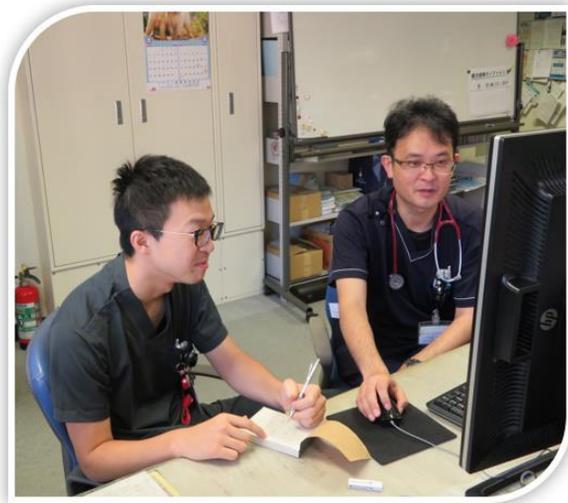
診療科profile 『循環器科』

前回の麻酔科に続き、今回は大田市立病院循環器科の紹介をします。

市立病院循環器科は、常勤医2名（高橋、菅森）と非常勤医2名で診療にあたっています。火曜日から金曜日まで4人の循環器専門医が外来を担当しています。

循環器科の得意とする診療分野としては、心不全、虚血性心疾患、不整脈、高血圧、深部静脈血栓症など緊急で生命に直結するような領域です。

大田市は高齢者が多く、ガンなどの病気に加えて循環器疾患の合併も多く、院内はもとより近隣のクリニックからの紹介も引き受けています。



【初期臨床研修医を指導する菅森医師】

大田総合医育成センター
内科系教授

たかはし のぶゆき

高橋 伸幸 医師

- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本内科学会認定内科医
- 日本循環器学会循環器専門医

部長

すがもり たかし

菅森 峰 医師

- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本内科学会認定内科医
- 日本循環器学会循環器専門医

循環器科を受診するといってもどんな時に受診すればいいのか難しいですよね？

高血圧に関しては血圧計で測れば数値が出るため分かりやすいですが・・・

そこで皆さんこんな症状はないですか？

- 歩くと息切れがする
- 夜間に息苦しくなり起きることがある
- 手足や顔がむくむ
- 運動すると胸が痛くなる
- 動悸がする
- 気を失うことがある

こんな時にはかかりつけ医に相談いただくか当院循環器科を受診してください。



多くの循環器疾患は予防が大切といわれています。特に心不全に関しては国内でも毎年1万人ずつ入院患者が増加しているとの報告があります。高血圧や糖尿病、高脂血症などは動脈硬化や心肥大を引き起こし、無症状のまま、しかも確実に心不全を悪化させていきます。

すでに2000年以上前に中国で“不治已病、治未病”（病になってから治すことはせずになる前に予防する）と述べられています。皆さんも検診結果や日頃の体調で気になる事があれば、かかりつけ医や当院循環器科に相談ください。

昨年1月からスタートしました新病院建築工事は、順調に進んでいます。

検査データの改ざん問題が発覚した免震オイルダンパーにつきましては、安全性が確認されたため本年3月末に16基全品の取付けを無事完了しました。

現在、最上階の立上躯体工事、および1F～4Fの内部仕上げ工事に取り掛かっており、6月末時点の工事進捗率は30.37%となっています。

今後は順次、内外装の仕上げ工事を進めるとともに、付属棟および院内保育所の基礎工事に取り掛かる予定です。



【取付が完了した免震オイルダンパー】



【工事現場の様子（R1. 6月）】

新人看護職員研修レポート Vol.1

4月に入職した新人看護職員8名は、看護部新人研修委員会主催の集合研修を終え、5月には各部署での勤務が始まりました。

このたび、7月の夜間勤務に備え、夜勤シャドウ研修を行いました。夜勤シャドウ研修では、先輩看護師と一緒に勤務を行い、夜勤の業務内容や一連の流れ、さらには複数の患者さんへの対応の仕方を先輩の所作を見て学びました。

先日、1階病棟で夜勤シャドウ研修を行った新人助産師のAさんにインタビューをしました。

～A新人助産師から～

「夜勤のスタッフは少人数なので、声を掛け合うことなどチームワークが大事であると強く感じました。また、患者さんは夜間、睡眠しておられるので、大きな音を出さないようにするなど配慮が必要だと感じました。」

夜勤シャドウ研修を通して、報告・連絡・相談を行い、チーム全体で安全で安心な看護を行っていくことの大切さを学ぶことができたと思います。新人看護職員は、今後も経験と学習を通して一人前の看護師を目指していきます。日々成長していけるよう、私たち先輩看護師がチーム全体で支えていきたいと思っています。

（副看護師長 土肥 久美子）



【夜勤シャドウ研修 先輩助産師の姿を見て学ぶ新人助産師】

病院敷地内全面禁煙のお願い

このたび、受動喫煙対策を強化する改正健康増進法施行により、令和元年7月1日(月)から病院敷地内の全面禁煙(加熱式タバコ・電子タバコを含む)が義務化されました。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



- 全面禁煙実施日…令和元年7月1日(月)
- 禁煙範囲…大田市立病院敷地内(駐車場・通路等を含む)

注)指定喫煙場所は、令和元年6月30日(日)をもって廃止しました。

第6回病院まつり

今年度も恒例の病院まつりを開催します！
現病院での最後の病院まつりになります。
皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

日時：9月8日(日)
10:00～14:00

場所：大田市立病院
(メイン会場：
リハビリ棟)



外来診療一覧

(●初めての受診が可能 ○予約の方のみ)

令和元年7月1日 現在

診療科		月	火	水	木	金
一般外来	内科	●	●	●	●	●
	神経内科	●		●隔週		
	呼吸器内科		●			●
	消化器科	●	●		●	
	循環器科		●	●	●	●隔週
	メンタルヘルス科				○	
	小児科	●	●	●	●	●
	外科	●	●	●	●	●
	呼吸器外科					●
	心臓血管外科			●※1		
	整形外科	●※2		●※2		●※2
	脳神経外科			●	●	●
	皮膚科	●※3	●	●	●	●
	泌尿器科	●	●	●	●	●
	産婦人科	●	●	●	●	●
	放射線科		●		●	
	ペインクリニック	●		●	●	●
	眼科	●※4				●※4
	耳鼻咽喉科		●		●	
総合診療科		●				
専門外来	リウマチ外来	○			○	
	腎臓内科		○			
	血液・腫瘍内科			●	●	
	ペースメーカー外来					○※5
	小児神経外来				○※6	
	小児心臓外来		○			
	発達障害外来				○※7	
	乳児健診		○			
	小児予防接種					○
	緩和ケア				○※8	
乳がん検診	○※9		○※9	○※9	○※9	

【受付時間】 8:30～11:00 (予約の方はこれ以外の時間になることがあります)

- ※1 第2・4・5水曜日
- ※2 予約券をお持ちの方は8:30～15:30(初診の受付を制限する場合があります)
- ※3 隔週で午後の診察(13:15～15:00)もあります
- ※4 初めて受診される方は8:30～10:30
- ※5 第2金曜日14:00～16:00
- ※6 第1木曜日 ※7 第2木曜日 ※8 第3木曜日
- ※9 前週の火曜日または木曜日にレントゲン撮影があります



～編集後記～

大田市立病院の広報誌「銀の風」が創刊され、5年が経過しました。今回の夏号でvol.23となります。皆さまのご協力により発行を続けることができました。これからもよろしくお願いいたします。

これまでの「銀の風」を振り返ると、職員紹介や行事、新病院の建設、フォトコンテスト、川柳コンテストなど“今”の大田市立病院の情報、話題をお届けすることができたのではないかと思います。

これからも雄大な三瓶から吹く風のような風通しの良い病院づくりができるように、願いを込めて「銀の風」を発行していきたいと思えます。

(担当T・M)

発行

大田市立病院 広報委員会

〒694-0063

島根県大田市大田町吉永1428-3

TEL: 0854-82-0330

FAX: 0854-84-7749